



倶知安町自転車活用推進計画の4つの目標

①自転車交通の役割拡大による
良好な都市環境の形成

②サイクリスポートの振興等による
活力ある健康長寿社会の実現

③サイクルツーリズム推進による
観光地としての魅力向上

④自転車事故のない
安全で安心な社会の実現

目標に向けた取り組み

ワンダーサイクリング

令和元年から行われている、地元ガイドの案内でおすすめポイントで自転車で巡るイベントです。



毎年スタートとゴール地点は羊蹄山麓7カ町村内で変わり、サイクリストに地域の魅力を伝え、地元の良さが再確認できる取り組みになっています。

このイベントは、羊蹄ニセコ自転車走行協議会 (YNCA) 主催で行われています。

シェア・ザ・ロード

道路を共有する自動車と自転車が互いに思いやりの気持ちを育むための取り組みです。令和5年には、YNCAが中心となり、大型車が自転車を追い越す際の適切な速度や間隔を確認する実験を行いました。



追い越しの際には、安全のために1.5m以上の間隔を空けることを呼びかけるステッカーも今年から作成・配布しています。



特集

暮らしに根付く自転車

近年、自転車は移動手段のほかに、観光資源やアクティビティとして利用する人が増えています。今月号の特集では、自転車を安全・快適に利用することができるように環境の整備を進めるため、今年の3月に策定した自転車計画について紹介します。

ニセコ HANAZONO ヒルクライム



これからの町の自転車人口

自転車を活用することは環境負荷を低減したり、健康維持や体力向上など、さまざまなメリットが期待されています。

本町では、「ニセコクラシック」や「ニセコ HANAZONO ヒルクライム」といった自転車レースが開催されています。また、羊蹄山や雄大な自然を目指して、多くのサイクリストが訪れていることや、電動アシスト自転車を利用する観光客の増加がみられることから、今後、夏季のアクティビティの1つとして利用する人が増えていくことが想定されています。

倶知安町自転車活用推進計画について

町は、町内の自転車関連団体や警察、道路管理者、行政機関などで構成する倶知安町自転車活用推進協議会を立ち上げ、本計画を策定しました。

策定にあたり、町民に自転車の利用についてアンケートを実施したところ、約440件の回答のうち、「自転車を所有している」と答えた大人が約75%、子どもが95%と非常に多くなっています。自転車を所有している方の約50%が、「便利で手軽、健康に良いから」という理由で自転車を利用しており、今後、必要と思う取り組みについては、「自転車走行環境の改善」、「安全利用の啓発」と回答している人が多く、自転車利用の課題解決に向けた活動を進めることが求められています。

次ページでは、本計画の中で設定した4つの目標と、町内で行われている取り組みについて紹介します。



YNCAは、平成30年に「誰でも気軽に楽しむことができる自転車環境づくり」を目指して設立されました。自転車は歩くよりもいろいろな場所に行くことができ、自動車よりゆっくり周りの景色を楽しむことができます。



羊蹄ニセコ自転車走行協議会 副会長

かしわば まさつぐ
柏谷 匡胤 さん

誰もが気軽に楽しく自転車に乗るためには、町民が日々の暮らしの中で自転車に乗る機会を増やすことが重要です。自転車の利用が定着することで、自転車マナーや環境を整えるための意識が広がると思います。そのためにも、小さい頃から自転車文化に触れることで、自転車に乗る人の気持ちを理解し、自動車に乗ったときも安全な運転を心掛けられるような思いやりを持った人が増え、自転車の安全な利用につながると考えています。

ヘルメットの無料配布



倶知安町交通安全協会では、小学校に入学した1年生を対象に、毎年ヘルメットの無料配布を行っています。

安全に、自転車を利用するために、小さい頃からヘルメットの着用を促し、定着させることを目的としています。